



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

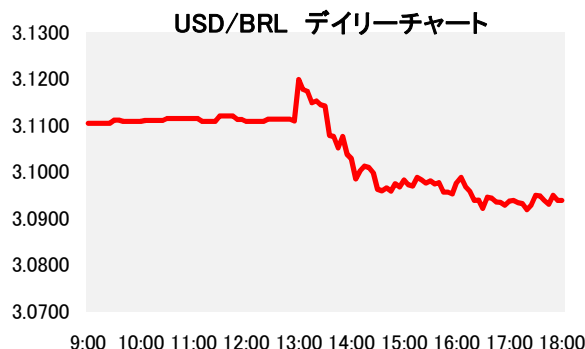
1. マーケット・レート

			2月21日	2月22日	2月23日	2月24日	3月1日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.0960	3.0650	3.0630	3.1100	3.0940	-0.0160
	BRL/JPY	Spot	36.70	36.88	36.79	36.03	36.74	+0.71
	EUR/USD	Spot	1.0543	1.0566	1.0584	1.0558	1.0546	-0.0012
	USD/JPY	Spot	113.62	113.08	112.70	112.08	113.67	+1.59
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	11.103	10.828	10.975	10.917	10.891	-0.027
	Future	1Year(p.a.)	10.334	10.280	10.164	10.166	10.115	-0.051
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.999	1.977	1.993	2.003	2.063	+0.060
	USD	1Year(p.a.)	2.182	2.189	2.188	2.198	2.229	+0.031
株式	Bovespa指数		68977	68471	67461	66662	66997	335
CDS	CDS Brazil 5y		224.85	224.50	220.02	222.18	222.18	u.c.
商品	CRB指数		192.050	191.227	191.634	190.931	191.269	+0.34

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

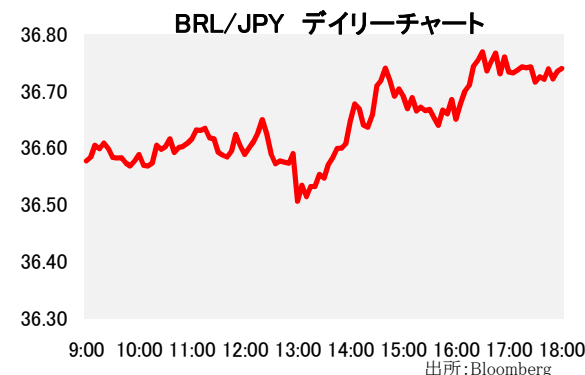
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
(米)ISM製造業景況指数	56.2	57.7	56.0
(米)MBA住宅ローン申請指数	--	5.80%	-2.00%
(米)マーケット米国製造業PMI	54.5	54.2	54.3
(米)個人支出	0.30%	0.20%	0.50%
(米)個人所得	0.30%	0.40%	0.30%



3. 要人コメント

米地区連銀報告 (ページブック)	経済は全国的に緩やかなペースで拡大し、労働市場は一段と引き締まった。一方で賃金の上昇やインフレに顕著な加速は見られなかった。
---------------------	--



4. トピックス

- 本日はカーニバルで午前が休場となり、午後1時から取引が開始された。レアルは3.1100で寄り付いた後、直ぐさま本日の安値となる3.1210を付けた。しかしその後、リスク資産の買いが優勢となる中、レアルはつられて買いに転じ、じりじりと3.09台半ばまで買い戻された。引けにかけて同水準で小幅に推移した後、日中高値となる3.0920を付け、結局3.0940でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、2017年の経済成長率予想は0.48%に据え置かれ、2018年は2.30%から2.37%に上方修正された。2017年のインフレ率予想は4.43%から4.36%に下方修正、2018年予想は4.50%に据え置かれた。2017年末の予想為替レートは3.30に、2018年予想は3.40にそれぞれ据え置かれた。
- ISMが発表した2月の米製造業活動は2014年8月以来の速いペースで拡大、6カ月連続の上昇。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。